

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社島津製作所 新聞発様(原称ヘルスケアR&Dセンター)建設工事	階数	地上4F
建設地	京都市 中京区 西ノ京 桑原町1,1-1,1-2,2,9-1,10	構造	S造
用途地域	工業地域、20m第4種高度地区	平均居住人員	500 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年9月28日
敷地面積	6,633 m ²	作成者	谷 泰人
建築面積	5,027 m ²	確認日	
延床面積	18,969 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 71%
③上記+②以外の 71%
④上記+ 71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
働く人への快適な職場環境を図ると共に、自然採光、自然換気により環境負荷を低減させる計画としている。工場内の既存の緑地と連続する外構計画とし、建物周辺に良好な緑地を確保している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
執務室は託すアンビエント照明システム、天井放射空調を設け居住性を高めている。外周サッシまわりに庇を設け、熱負荷の低減を図っている。	階高4.3m、天井高さ2.8mとし、機能性と更新性を高めている。建物外周部にメカニカルバルコニーを設け、維持管理のしやすい建物計画としている。	敷地南東の緑地と連続する動線計画、外構計画とし、工場内の快適性を高めている。建物まわりに歩行者用通路と緑地を設け、安全性と快適性を高めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
Low-Eペアガラスサッシ、外壁・屋根の高断熱化を図り、熱負荷の低減をしている。また、自然採光、太陽光発電設備を設け、自然エネルギーの活用をしている。BEMSを採用し、効率的なエネルギー運用を図っている。	自動水栓、節水機器を設け節水に努めた計画としている。	工場内の緑地と連続した外構計画とし、ヒートアイランド化の低減を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される